

令和5年度 施設としての自己評価

中田 おひさまの森保育園

平素は中田おひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというとできていなかった 【2】どちらかというとできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
●保育内容(今年度の重点)		
・愛着についての理解と愛着形成の実践	4	ミーティングで愛着の定義や考え方を学んだり、再確認をしたりし、一人ひとりの姿と照らし合わせていった。実践からの気づきを日々の屋礼で話し合い、自身の関わり方の見直しや、もっと良い関わりがないか検討していくことができた。
愛着についての理解や考え方を職員間で揃え、その子にあった関わりをみつめて実践する。		
・子どもの意欲を伸ばす声掛けの検討と実践	3	保育者が掛けた言葉が子どもにどう届いたのか、声を掛けた後の行動を見守り、その後のより良い声掛けにつながるよう検討していった。しかし咄嗟に発した言葉が意欲につながっていたのかという反省もあることから、今後も保育者一人ひとりの声掛け意識の向上を努めていきたい。
言葉を子どもがどのように感じ、受けとめるのかを予測や検討し、意欲が高まる声掛けを一人ひとりが継続して実践する。		
●施設設備		
・保育室環境について	3	安全、快適な環境の下、子どものその時期ならではの育ちと丁寧に向き合い、環境を考え整えていった。子どもが主体的にやってみたいと思える環境設定や、興味関心をもった人や物事に満足のいくまで関われるような玩具の選定も行った。
安全面や衛生面を保ち快適に生活できる、子どもの発達に合った環境を整える。		
・園周辺環境の活用について	2	地域の情報を集める中で、子どもにどのような体験や出あいのきっかけが提供できるのかを保育者間で話し合う機会を設けた。適切な場所やコース選択が各クラスで行っていたが、今後も園周辺環境を見直していき、その場所の安全に十分配慮したうえで保育し、子どもたちの心動く体験の場を増やしていきたい。
よりよい育ちや保育の充実に向け、地域の情報を集めて活かす。		
●保健・衛生		
・感染症対策について	3	新型コロナウイルス感染症以外の感染症にも目を向け、それぞれの症状や対策をミーティング等で資料を基に理解を深めていった。体調の異変に早く気づくこと、消毒の種類や箇所の再確認、保護者への情報提供等、共通認識をもって対応していった。
感染症への理解を深め、拡大防止の為に予防と対策を実施する。		
●運営		
・行事のありかたについて	3	子どもが季節の行事にふれる意味や価値を明確にし、保護者参加の行事のありかたを見直したりしたことで新たな取り組みや今年度ならではの行事を行うことができた。子どもの姿や育ちが存分に発揮されることで、保護者や保育者が幸福感や達成感を感じたり、今後の子育ての期待がもたれやすくなるきっかけとなっていたのではないと思う。
一つひとつの行事の意味や価値を明確にし、子どもの育ちが感じられる行事を検討する。		
・保護者との連携体制について	3	送迎時のやりとりや連絡ノートから、保護者からうかがった子どもの家庭での様子や、園での様子を比較したり、共通の認識をもったりすることができた。保護者の背景や子育て環境を理解しながらコミュニケーションをとるよう心がけた。小規模のメリットも活かし今後も継続的にその人に寄り添いながら連携を深めていく。
コミュニケーションツールを活かしながら、その人に寄り添った提案や支援をし連携を深める。		
・危機管理について	3	ミーティングや屋礼時にマニュアルを保育者間で再確認し、危機管理への意識を向上させた。様々な時間、場所、発生の種類を想定し検討したことをシミュレーションしていった。市からの情報や事例を基に、安全確認方法や環境の改善を実施した。
人の命を守る責任をもち、起こり得る災害や事故を想定し対策を検討し実践する。		

【総評】

平素より、園へのご理解とご協力を誠にありがとうございます。
本年度は感染症への理解や対策の見直し、子どもの命を守るための設備や実践の再確認を行い、保護者様が園に安心してお子様をあずけられるような環境づくりを検討、実施しました。関わりの中で一人ひとりが「大切にされている」と感じられ、自分を少しずつ発揮できるような居場所となるために、愛着形成や声掛けの重要性を改めて職員間で話し合い、深まるよう取り組んできました。引き続き人と共に生きる楽しさを感じながら、保育の質の向上を目指し子どもの育ちを皆様と見守っていきけるよう、一層尽力して参ります。今後ともよろしくお願い致します。

令和6年3月1日

園長 前川 冬美香

上記の園自己評価の結果を掲示とともに開示させていただきます。尚この掲示は3/1から来年度4/末日まで開示します。